

商 況

販賣旬報 第 139 號 昭和 5 年 9 月 12 日

製 鐵 所 販 賣 部

過去 3 ケ年の輸入状態

1、何處の國からどれほど来るか。日本への鐵鋼輸出國は十指に餘るが、主要なものは別表の通り米國、及び歐洲では英、佛、獨、白の 4 國が其主要なもので、此 5 ケ國で殆んど全部に近い 97% を占めて居る。此等 5 國は世界鐵鋼界でどんな位置を保つて居るか、昭和 4 年に於ける世界各國の鋼生産額を見ると次の通りである。

昭和 4 年世界各國鋼生産額 (單位千噸)

順位	國 名	産 額
1	米 國	56,992
2	獨 逸	16,459
3	英 國	9,977
4	佛 國	9,677
5	露 西 亞	4,673
6	白 耳 義	4,170
7	ル ク セ レ ブ ル	2,707
8	日 本	2,293
9	ザ ー ル	2,235
10	伊 太 利	2,184
11	チ エ ツ コ ス ロ バ キ ア	2,184
12	加 奈 陀	1,498
13	波 蘭	1,442
14	西 班 牙	965
15	瑞 典	685
16	澳 太 利 亞	650
17	英 領 印 度	579
18	匈 牙 利	545
19	濠 洲	457
20	支 那	—
21	其 他	335
	合 計	120,705

即ち、やはり多く生産する處から多く輸出されて居る譯である。話は横道に外れるが、此表を見て我等が異様に感ずるのは我國鐵鋼界で噂へも聞いた事のない露國が世界の第 5 位を占めて居ることである。矢張り大きな國では大きな風が吹くものである。一つは日本の第 8 位である、明治 34 年以來の短時日の間によくこれまで發達したものだと言へば褒め言葉になるし、「抑我國鐵鋼界は……」など、力んでもたつた 200 萬噸、獨逸の 1/10 米國の 1/25 の生産で、洵に情ないと見れば情ない。

閑話休題、此等 5 ケ國中何處が最も多く我國へ輸出するかと云ふに獨、米、英、白、佛の順序で、其内獨逸が殆んど半分に近い 40% と云ふ數字を示して居る。歐洲戦争であれだけ踏み付けられた此國の反撥力の偉大さは正に敬服に値するものである、そんじよそこの他力本願のメーカーは宜しく其根性を學ぶべきではあるまいか。

2、どんな品種か何處から来るか。國によつて得意、不得意がある、變遷がある。主要な品種に就て此等各國はどう云ふ具合に變化して居るか、下表で分解して見よう。但し只の 3 年間何處の國から如何程来るか。

區次 年次 國別	數 量				% 率				
	昭和 2 年	3 年	4 年	5 年 上 半 期	昭和 2 年	3 年	4 年	5 年 上 半 期	以上 平均
英 國	159,644	206,514	146,218	47,481	20	26	20	17	20
佛 國	23,735	47,532	61,138	11,115	3	6	8	4	5
獨 逸	311,609	281,793	319,175	121,630	39	35	41	43	40
白 耳 義	88,183	54,871	65,023	24,947	11	7	8	9	9
米 國	185,916	187,563	153,567	69,665	23	23	20	24	23
5 ケ 國 計	769,132	778,273	745,121	274,838	96	97	97	97	97
總 輸 入 數 量	804,201	807,146	777,547	285,328	100	100	100	100	100

の統計であるから、其趨勢を適確に之を立證することは困難であるが、大體の傾向だけは窺ふことが出來よう。

其前に我國での生産で變化したものを拾つて見ると昭和 4 年に於ては内地生産力の増加と不況に原因して、輸入が漸減の経路に入つたこと、鋼板 (07 耗以下) が、主として川崎造船所の進出によつて著敷く其輸入數量を減じたこと、軌條が輸入防遏の統制が殆んど完全に出來た爲め、やはり輸入の著減を見たことである。之を頭に置いて次表を見ると、條鋼類の大勢は英國、白耳義は殆んど變らず、佛、米は漸増し、獨逸は年により波瀾を畫いて居る。

軌條は例外的に米國が踏み留つて居る外は 4 ケ國共基たしき減少を示して居る。流石の獨逸も昭和 2 年に比すれば

昭和4年は半減以下となつた。線材は各國共殆んど趨勢不變、鋼板(0.7耗以下)に於ける米國の激減と、獨逸が變化なきは何を物語るか結局安物で間に合はせる様になつたと云ふ譯ではあるまいか。鉄力は寧ろ英國が力強く進出して來たのも叙上と同じ理由と見るは當らずとも遠からであらう。鋼管と云ふものは數量も國別の傾向も一向に變化がない。此5ヶ國で品種別に見てどんなものを輸出するか3ヶ年平均に就て見れば先づ英國では鋼板(0.7耗以下)が斷然他の追隨を許さず、平均して8萬8,000餘噸である、其他硅素鋼板及び鉄力板で米國に亞いて光つて居る、然し全般から見てどれもこれも我國に對し相當の輸出をなして居る。

佛蘭西は全然、硅素鋼板と鉄力を缺いて居るのが眼立つて居る。其他鋼板(0.7耗以下)及び鐵リボンも殆んどないと云ふてよい 獨逸は流石に、他を半耳つて居るものが多い、曰く條鋼、曰く軌條、線材、鋼板(0.7耗超)と頑張つて居る。之に反し鉄力に對しては全然無力であるのが看取される、鋼管も米國と相俟つて斯界をリードして居る。白耳義は殆んど其主力を條鋼と線材に注いで其他は殆んど閑却されて居る状態である。米國は特色あるもので條鋼も特殊のもの以外は輸出の機能なく、鉄力板がマツキンレー關稅の餘澤を蒙つて、あれだけの基礎を持つて居る英國を後に隨へるまでに到つたのである。然るに鋼板(0.7耗以下)は近來漸減の傾向を呈すに到つたが、それでも平均4萬噸の輸出を示して居る。

何處の國からどんな品種が來るか

品 種 \ 區 分	英			佛			獨		
	2年	3	4	2	3	4	2	3	4
條軌	26,302	21,859	29,213	1,895	16,054	27,159	105,531	68,430	85,982
線材	6,049	372	62	15,731	7,701	1,324	40,589	26,359	17,080
鋼板 (硅素鋼板)	6,448	6,301	4,467	132	15,077	15,123	71,136	87,164	92,201
" (0.7mm以下)	2,630	2,488	2,313	—	—	—	1,181	2,018	2,195
" (超 0.7 mm)	88,837	115,844	49,534	139	25	65	22,849	17,745	17,490
鉄力	7,155	26,971	23,547	294	1,603	2,788	28,012	32,013	33,996
鐵リボン	11,898	20,646	28,526	—	—	—	26	107	93
帶鐵 (箍鐵)	959	1,579	1,037	41	158	108	1,626	2,334	3,251
鋼管	2,019	1,763	1,998	—	1,808	4,618	6,334	20,728	35,707
	4,209	6,264	3,458	4,325	4,653	9,458	23,192	17,919	25,888

品 種 \ 區 分	白			米			3ヶ年平均數量				
	2	3	4	2	3	4	英	佛	獨	白	米
條軌	54,383	22,210	29,876	4,914	5,486	10,409	25,791	15,036	86,648	35,490	6,936
線材	3,600	429	—	15,666	10,219	14,424	2,161	8,253	28,009	1,343	13,436
鋼板 (硅素鋼板)	12,922	15,506	11,189	13,848	29,036	25,827	5,739	10,111	83,500	13,206	22,904
" (0.7mm以下)	—	204	50	6,038	4,664	5,590	2,744	—	1,798	85	5,431
" (超 0.7 mm)	1,936	1,133	433	60,715	48,264	12,256	88,072	76	19,361	1,167	40,412
鉄力	6,899	8,623	8,731	8,338	7,878	6,823	19,224	1,562	31,340	8,084	7,680
鐵リボン	—	94	182	49,092	51,265	52,117	20,357	—	75	92	50,825
帶鐵 (箍鐵)	117	83	39	202	213	259	1,192	102	2,404	78	225
鋼管	4,999	4,330	10,605	516	506	349	1,927	2,142	20,923	6,644	457
	1,941	1,025	2,457	22,546	23,882	20,561	4,644	6,145	22,333	1,808	22,330

11、12月渡先物協議會「復も闇相場」9月8日製鐵所東京出張所に開く。結局再び限月短縮の意味にて闇相場とするの已むを得ざる状態に立到つた。メーカー、問屋共此鐵鋼界の窮境のドン底に追ひ込まれては最早萬策盡きたる有様にどちらを向いても青息吐息ばかり。別項の如き三都希望値段及び希望條件として「別紙希望安値は11、12、1月渡、1、2月渡の3期間の先物値丈に適用せられ度きこと。即ち3期間は先物値段据置たること、尙特殊の事情生したる時は別に協議すること、但し賣出數量は毎月發表し注文も毎月受取る様願度きこと」が附せられた即ち市場誘導の目的を以て此3ヶ月間は此値段以下には絶對値下げせざる聲明を要求したもとの事であつた。然し其希望値段たるや先月と同様甚だしく外注値段と懸絶したものであつて、然も此値段で買へるかと云へば其も疑問であるがどうかと云ふて地場の状況を考慮に入れると是以上の高値の要望も出來ず、去りとて此上値下りを見たのではやりきれぬと云ふ實狀から割り出されたものである。

然し當所としては希望條件の如く3ヶ月も値段を据置くとしては其希望値段の様な安値を發表するは決して今日の市場を好轉せしめざるのみならず、民間にて製造する品種は兎に角、當所の獨壇上のものまで外注追隨を捨つるに忍びず、依つて今暫く成行を注視するより外なく隨つて再び限月を短縮し10月初旬まで建値を延期しては如何と謀り

一般も事此處に到つては已むを得ざるものにして遂に復も闇相場を現出するに到つた。

品種\區分	入電沖着	河岸着値段 (爲替%—%)	三都 希望
丸鋼ベース	5-12-6	75.30	65
〃 徑 9mm	5-14-6	76.28	62
角鋼 50mm以上	5-12-6	75.30	68
〃 50mm以下			
平鋼 36mm以上	5-12-6	75.30	68
〃 70mm以下	5-12-6	75.30	70
中小型山形鋼	5-12-6	75.30	66
大型山形鋼	5-12-6	75.30	70
工形鋼	5-13-6	75.79	71
溝形鋼(吋寸法)	6-3-6	80.64	72
〃 (耗寸法)	5-4-6	76.28	70
鋼板 6.0mm以上	6-7-0	82.33	70
〃 4.5mm	6-7-0	82.38	
〃 3.2mm	6-8-6	83.06	80
〃 2.3mm	6-14-6	90.72	86
〃 1.6mm	6-15-0	91.21	88
線材	6-10-0	76.79	—
鍍力板 100lbs	0-19-6	10.34	—
〃 170	1-16-0	19.02	—

8月中三港輸入概観—2萬噸を彷徨

1、市中の噂を聞けば「もう輸入は1噸もないでせうと誰れもそう感ずる。然し8月は條鋼類だけで約3,000餘噸の輸入を見た、前月の2,000餘噸に比すると1,000噸の増加である、やはり輸入と云ふものは鋼材界七不思議の一に數ふべきであらう。丸鋼は神戸に太物が500噸近く輸入を見た爲此増加を見せた。

大阪の工形は殆んどベスレームで何か特別の目的の爲て一時的現象と見られる。

2、鋼板類中0.7耗以下は愈々輸入も絶滅して神戸が只の11噸となつた、内地の統制機關の成立と呼應して早晚立ち直りを豫期されるが此アブノーマルの需要減退とミートして行く暫時の間は可成りの苦痛を忍ばなければなるまい。0.7耗超も漸く減少の現象となつた、横濱の半分は造船材料である、鍍力の規則的輸入は變らない。

3、軌條の増加したのは京都市電や阪神電鐵向と思はれる、シートパイルは益々旺盛である。如何に需要が減退したとは云へ線材の此位の輸入は止むを得まい、相當消化したと見えて大阪も此數量に押されることもなく寧ろ稍戻し氣味と見られて居る。

東西市況—無氣力 製鐵所先物値段が復も闇相場となつた、前回は相當の影響もあつた様であるが今月はそれを氣にするだけの氣力も失せた模様で、大體無感覺ではあるが何と云ふことなく只一段と軟化して底止する處を知らないと傳へられて居る。然し今迄は關門の瀬戸際は躊躇するが、一旦臺割れとなるや一舉に下押ししたものである、然し今度は等山や溝の2×4など暫く此邊で下げ溢つて居るのを見ると底近いではないかと思はれる節もあるが、何時も意表外に出る今日の相場故あまり當にならないと觀測もされて居る。

荷動きは不不變不振を啣たれて居る但し地方は時機は争はず弗々と注文もあるそうである。

東京市況

丸鋼 6mmが何時の間にやら軟化し9mmは八幡のストックが頭痛の種で軟調を改めず、ベース成行は別表の通りであるが見積りとなると57、8圓の呼聲を聞く程で何處で落ち付くやら見當も付かないと云はれて居る。

角、平鋼 角は結局伸鐵値段まで追い込めて四苦八苦、平は賣行不振で悲鳴を擧げてザリ安。

型鋼 中型等山は未だ混沌として歸趨する處を知らず、遂に臺割れが成行となつたと云はれて居る、不等邊牙えず 1/2×4×6は品薄に8圓20錢を呼んで居るが最近の入荷は8圓と軟弱である。溝形の不況も改まらず、只2 1/2×5がどうやらこんな所で踏み止まつて居るだけである。工形は溝形に比ぶればよいと云ふ程度であるが氣持は底堅く保つてゐる。20"以上の駢り不變。

鋼板 6.0mm以上は見積では7圓30錢などと云ふのがあつたが、市場は此邊で動かぬ模様である。薄いものも一向下押し止まずと見られて居る。

大阪市況

丸鋼 依然として不味閑散。潜行的賣物に益々下押し氣味となり市場相場は遂に70圓の關門を割るに至つた

角、平鋼 伸鐵平鋼は先月より1圓方下落し細物のエキストラが全廢された模様である。兎に角、角鋼平鋼共品薄の寸法も弗々あるやうであるが、伸鐵業の進出に尙目先も好轉は覺束ないであらうと見る筋がある。

型鋼 大山型、溝型、工形共桁外れの見越安値の受注が稍々功を奏し市中尙小口商内は相も變ず軟調を辿つて居る。

鋼板 1、2中板ものは最近の約定品未だ入荷せざるも既に最低値段の標準を下廻つて賣買せられ厚板に至つては需要益々減退の模様にて目先の安値を氣構へて市場は正確なる相場立たざる有様と云はれて居る。

線材 目下の呼値は

大陸もの 1 英噸 金 79 圓
 當所品及神戸製鋼品 1 噸 金 77 圓 50 錢である。

製線及製釘 2、3 工場の休業及び減産により市場在庫少く且つ 9 月の需要期に直面していくらか荷動きよく底堅き商状を呈して居る。

鉄力板 時は正に秋、天高くも鉄力板相場は何時立直るとも知れず、馬肥ゆれども商内はなかなか縮小作業を止めず環境に材料に何一つ迷雲を打拂ふべき風も見えない有様である。

販賣旬報 第 140 號 昭和 5 年 9 月 23 日 製鐵所販賣部

日本黑板共販組合第二回賣出—10 月積 日本黑板共販組合は 10 月積賣出數量並に賣値決定の爲 9 月 15 日製鐵所東京出張所に理事会を開催、常盤會の希望並に現下の市況を斟酌して下の如く決定の上發表した。

1、賣出噸數	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
	噸	噸	噸	噸	噸	噸
内地向	6,700	2,000	800	300	200	10,000
輸出向	1,000	1,000	250	100	50	2,400
計	7,700	3,000	1,050	400	250	12,400

2、建値 (イ) 内地向

3×6 判 平板	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	浪板原板 は各社共
268 枚 1 噸 = 付	153 圓	151 圓	153 圓	153 圓	153 圓	151 圓
	(260 枚 1 噸に換算 して 146 圓 50 錢)					

(ロ) 輸出向 3×6 判平板 製鐵 125 圓 其他各社 128 圓 浪板原板 127 圓

以上の内内地向賣出數量の 1 萬噸は前月の成績からすると聊か多きに過ぎる感も抱かれるが前月の買控に市中在庫も可成手薄であるのみならず殊には最需要期の 10 月のこと故現在運轉してゐる鍍金機は東西併せて約 19 臺 1 臺平均月 1,000 噸を鍍金する能力ありとみて 1 萬 9,000 噸の黑板は消費する筈であるから決して不當なる數字ではあるまい。

参考の爲下に鍍金界の大勢を窺がふ。

大阪	中山	日ノ出	丸十	大阪	大阪	日本	尼崎	計	東京	東亞	大阪	東邦	大正	東	東京	中山	共立	昭和	計
設備數	3 基	1 基	2 基	4 基	2 基	4 基	3 基	19 基	1 基	2 基	1 基	1 基	1 基	4 基	1 基	1 基	1 基	13 基	
運轉數	2 基	1 基	1 基	3 基	2 基	2 基	2 基	13 基	1/2 基	2 基	1/2 基	1/2 基	1/2 基	2 基	0	0	0	6 基	

各社の割當數量は前月の各社賣出噸數を基準とし、前月の賣れ残り又は割當超過分を其の社の今月の割當量に繰り越し、1 萬噸に按分したもので、市場往々賣れ残りは來月に繰り越されて必ず賣出噸數の總額増加を結果すると懸念する向もあるが、其の然らざるは今回の賣出を見ても明て、共販組合はたい市場の情勢に應じて毎月の賣出數量を定めること今後とも變りない。

建値に就ては常盤會は内地向据置を希望し、製鐵所と他部との格差 1 圓を希望したが、据置はとも角、格差の點に於ては先月に比し製鐵ものは一躍 2 圓の値上となり餘り急激に過ぎる嫌があるので 151 圓と 2 圓に止め、波板は常盤會の希望を容れて内地向 151 圓の 1 本で平板の 2 圓下に決定した。

輸出向は保税物の値下りに對抗する意味で 2 圓下げの 128 圓、製鐵ものを 125 圓と内地向同様格差を付けたのは同値段の爲川崎もののみ捌けて製鐵ものが 1 噸も出なかつた前月の成績を斟酌したので調節の意味からである、現在の外國品輸入値段は Butterfly で 12-6-0、即 129 圓 30 錢許りであるから先づ適當な相場と云へよう。

締切日は 9 月 19 日理事会は 22 日大阪俱樂部で開催のことに決定し、無事解散した。

尙當日の議題としてアソート問題が上つたが次回迄の研究題目として残された。共販組合の完全なる統制の爲には是非とも試みればならぬ事柄の一つであらう。

東西市況—實需萎縮 こう 1 日ごとに安値に落ち込んで行つては、需要家筋も氣味が悪くて手の出し様もなく此好季を迎へながら一向實需起らず、一方市中は買へば損する今日賣行のあろう筈もなく、寂れ切つて居ると傳へられて居る。一般は常識的に考へられる生産費近所では踏みとまるだらう、まさか 60 圓へは行くまいなどと空想を畫いて、前へ一步後へ一步で今迄經過したが、市中では丸鋼ベース 52、3 圓で出來たなどの噂が流布されて啞然として、

そんなら愈々 40 圓臺迄は行くだらうと急に弱氣が擡頭して頭の中も混亂して居る模様と見られて居る。

東京市況

丸鋼 先行不安と定期値段の安値の噂に懼へて一般と軟化の模様を傳へられて居る。安全地帯であるべき筈の太丸も細丸や、ベースに押されて日 1 日と落調を迎るの已むを得ざる状態にあると云はれてゐる。

角、平鋼 角も丸の影響を受けて不味も改めず、平も需要の不振に祟られてチリ貧を續けて居ると見られて居る。

型鋼 全般に互つて相當の切れ時物もある程に手當薄であるが、底の分らない今日故實需の買控に遇つて一向轉換の模様もなく、中型等山中 9×70 など相當手持薄ながら不冴、其他もチリ安、大型等山も不變、不等邊の不味も不變、溝形も同様にて追々品薄になりながら反つてチリ安を續けてゐる。工形も最早部分高の峠を下りて平均されて來たと傳へられて居る。

鋼板 60 以上は注入あつて急薄歩調となつたのが目立つて居るが其他は一般にチリ安と傳へられて居る。

大阪市況

丸鋼 値下の幅も大分大きくなり 70 圓の臺割以後 67,8 圓所は商内せずして立消え 65 圓と旬日を出てすして落込んだ。東京市場 52,3 圓の入報には驚きを通越えて「ア、左様か」とアツサリ片付けられて居る。關東に比して關西方面の方が割合に落付いて居るのは製造業者の關係もあるが販賣區域が廣いからだと云はれて居る。

角、平鋼 角鋼 19,22 は矢張り拂底して居るが伸鐵物で充分間に合つて居る。50mm 以上の大ものは動かず。平鋼は伸鐵もの全盛の觀がある。値段も 71, 2 圓に落付いて居る。昨今の如く先安を見越されて居る場合には伸鐵ものゝ如き現物商内同様のものは損が少いので自然歓迎されて居る。

型鋼 山形鋼中型のものは各問屋共手持は減じて居るが先安を見越し思惑買する丈の勇氣が起らない程度の賣行不振を示して居る。大型ものも同様動かない溝形鋼 50×100 は最近 65 圓の厭氣投げがあつたと云はれてゐるが若し事實とすれば本年 1 月の相場 150 圓と比較して正に半額以下とは何たる慘落振りであらうとて泣き顔をして居る問屋もある。其他のものも皆目賣れないやうである。工形鋼は前者より幾分良いやうである。品薄のものも大分出來て來たが入荷品は少い。普通の場合は斯界を好轉さすべきリーダーの素質を備へて居ながら昨今の如き業界では折角リーダーも顧られぬ不遇を啣つて居る。

鋼板 一中、二中ものは不相變安値を追つて居る。耳付 50 圓の希望に厚板は今や 70 圓割るものと見られて居る。

線材 目下の相場は前旬と大差なきも斯界の共販成立せりととの報にいくらか氣分を良くして賣物産を潜め底固いやうである。只時々舶來品賣物のために伸力乏しく尙又周圍の財界は我ワイヤロード相場の昂騰を許さざるものゝ如く茲許底固き状態にて推移するであらうと見る向もある。

鐵力板 毎年下半期は鐵力板賣行きは少いやうであるが本年は特にそうした感じが深いやうである。市場ストックは外註品は殆ど全部品切れとなつた模様であるがこれに引控へ内地品は當所品の出廻り順調のためストック漸増の有様にて従つて相場は依然伸力がない。

販賣旬報 第 141 號 昭和 5 年 10 月 2 日

製鐵所販賣部

過去 3 ケ年の鋼材供給状態 (其一)

第 1 表 單位噸

區分	年次	昭和 2 年	3 年	4 年	3 ケ年平均	3 年平均増(減)%
		棒型鋼	520,184	592,353	679,572	597,370
鋼板	323,167	320,821	351,015	331,667	4%	
軌條及附屬品	651,718	757,895	789,399	733,004	10%	
線鋼	269,028	261,667	316,010	282,235	9%	
其他	材	163,517	229,062	225,264	205,948	19%
	管	99,780	121,023	139,318	120,040	18%
	其他	48,134	46,788	50,211	48,378	2%
計	2,075,528	2,329,609	2,550,789	2,318,642	11%	

備考 1、「鋼板」は鐵力板、硅素鋼板、綉鋼板等一切を含む
 2、「線材」には製釘材を含む
 3、「其他」は半圓鋼、Z 形鋼等の條鋼、外輪及車軸等を主要なるものとす

1、概觀、第 1 表は過去 3 ケ年の鋼材供給の大觀である。表中 3 ケ年平均數量は大體に於て近年の日本に於ける消費力と見る事が出來やう

過去 3 ケ年に於ける増加率は約 11%と云ふ常識的に考へられる妥當な數字を示して居る。然し品種別に就て見れば勿論逕庭はあるが、特に線材と鋼管の増加率の多い事が目に就くと同時に輸入を主力とする線材が全く統制力を缺いて年の好不況に依り甚だしい起伏の線を畫くのを觀取されると共に輸入驅逐に精進すべきを痛切に感じさせるのである。

棒鋼、鋼板は此の表の様に總括的に看れば至極穩健な進轉を示して居るが内容を分解して見ると様々な變化がある此は何れ各品種別に就て書く時述べる機會があると思ふ、特に鋼板に於て然りである。

次に此等の品種が全數量に對し如何なる率を持つて居るか、3年平均の數量を基調として調べると次の通りである

棒鋼 26% 型钢 14% 鋼板 32% 軌附 12% 線材 9% 鋼管 5% 其他 2% 計 100%

即ち鋼板として使用せらるゝものが最多で棒鋼之に亞ぎ、單純なものとして線材が比較的多量に使用せらるゝことが看取せられるであらう。

日本黑板共販組合理事會— 10月積締切 去る9月22日日本黑板共販組合は10月積注文の査定をなすべく第4回理事會を大阪俱樂部に開催したが、内地向賣出噸數1萬噸に對し9,420噸の申込を受け、先上々の成績を収めた。各社別内地向賣出及申込噸數下の如し。

	製鐵所	川崎	中山	徳山	日鋼	合計
	噸	噸	噸	噸	噸	噸
賣出噸數	2,000	6,700	800	300	200	10,000
申込噸數	1,820	6,385	800	315	100	9,420
過不足	180噸不足	315不足	0	15超	100不足	580不足

此の好成績を収め得た第一の理由は10月と云ふ最需要期であつた爲でもあらうが、又共販組合の態度乃至協調振りが漸く市場に認められて、賣崩しハタ賣等に對する懸念が一掃された爲とも見ることが出來よう。各種の申込もほぼ均勢がとれて製鐵所180噸、川崎315噸、日鋼100噸の賣残りを出したに過ぎぬ。然し仔細に現在の市況と申込の内容を點檢すると東京の申込4,500噸に對し大阪4,920噸は餘りに僅少で、此は來月の組合更改期を控へて或は崩壊するのではあるまいかとの恐怖心に依る見送りが未だ多分に働いて居るのではあるまいか、然りとすれば來べき10月の理事會に於て正式に組合の存續を可決した曉に於ける註文量こそ眞に現在の需要を代表するものと云ふことが出來よう。

いづれにしても市場が共販組合の確固たる存在を認めればならなくなつたのは事實で、獨り黑板界のみは暗鬱たる鋼材界の一角に存在して行方に燦然たる光を見守てゐる。

尙輸出向は2,400噸の賣出に對し1,270噸と約半數の申込しかなく成績頗る振はなかつたが、此は保稅物が可成り残つて居る爲で端境期として止むを得ぬ所であらう。又3圓の格差あるに拘らず製鐵所ものの賣れなかつた理由は輸出向の様に買手のつき次第直ちに鍍金して積出さねばならないものを遙々八幡から運んで來るのでは商機を逸する恐れがあるとの爲らしいので此の點に付いては一考を煩す必要があるであらう。

輸出向の申込内譯は下の通りである。

	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	合計
	噸	噸	噸	噸	噸	噸
賣出噸數	1,000	1,000	250	100	50	2,400
申込噸數	920	100	250	—	—	1,270
過不足	80噸不足	900不足	—	100不足	50不足	1,130不足

六軌會 9月25日輕軌條價格決定の爲日本工業俱樂部に於て六軌會を開催す。

海外品は現在の處相當高價を示せるも需要激減せると共に一方外品の先行不安著敷き爲め1ヶ月乃至2ヶ月間値段發表見合せ要求ありたるも却て此間外註品の輸入を誘致する虞あるを以て不取敢10、11月積普通賣のものに付き下記の通り決定發表した。

10、11月積(10月契約のもの) 10哩未満 1噸 金86圓替 10哩以上 1噸 金84圓替

三軌會 恒例に據り重軌條値段決定に關する三軌會は9月26日製鐵所東京出張所に開催輸入値段並に市況としても大なる變化も認められず前回据置の下記値段に決定した。

1、價格 20哩以下のもの 1噸に付 金96圓替 20哩超のもの 1噸に付 金95圓替

2、期間 自昭和5年9月26日至昭和5年12月末日註文決定の分に適用す。

8、9月中大陸市況 8月中旬棒鋼4-7-0と古今未曾有の値段に流石暴落に慣れた買手を聊驚嘆せしめた大陸市況も、明日には更に4-6-0、4-5-0と新安値を争つては大向ふも唸り榮えせず、徒に買氣を溢つて、市場頗る沈滞メーカーの競争は層一倍と募つて工場を運轉せしめる最小生産量を保證する註文の獲得に、生産費の如きは勿論値段などはどうでもと云ふ全くの混亂状態、下旬には4-3-6迄陥ち込んで了つた。

實際最近に於ける需要の減退は卑俗の言葉ではあるが物凄い程で白耳義の棒鋼工場の如き大部分は能力の 30 乃至 35%位の生産を続けてゐる有様であると。更に本年に入つてからの輸出並に生産状況を調べて見れば大陸鐵鋼界の不況がありありと寫し出される。即ち本年上半期の輸出を先年同期の其れに比較すれば

	獨逸	白及ルク
1929年	2,835,774 噸	2,413,812 噸
1930年	2,694,234	2,245,731

	獨逸	白及ルク
1929年6月	522,037 噸	654,074 噸
1930年6月	269,423	323,147

而も此の内から6月中だけをとつて見ると次の如く實に 50%の激減となつてゐる

又見方を變へて主要製品に就て其の減少振りを見れば

6 月中に於ける白、ルク主要製品別輸出數量

	棒鋼	鋼板	型钢	線材
1929年	203,398 噸	95,805 噸	79,485 噸	39,463 噸
1930年	83,179	42,597	43,883	15,160

全製品殆んど半減の有様であるが中にも棒鋼の減少の振りが目につく此に對して彼等の生産はどう續けられて行つたか。

主要生産國上半期生産高

	獨逸	ザール	白耳義	ルク サンプルグ	佛蘭西	歐大陸	英國	米國
1929年	8,323,807 噸	1,087,435 噸	1,980,500 噸	1,315,727 噸	4,814,000 噸	17,521,469 噸	4,882,700 噸	29,037,398 噸
1930年	6,581,910	1,042,583	1,822,100	1,194,001	4,830,000	15,470,594	4,361,700	23,793,119

即ち佛蘭西を除いては例外なく減産を餘儀なくせられ歐大陸は 15—16% の減少である。而も年初に於ては未だ顯著なる減産は行はれず、月改まると共に漸次市況の悪化に追隨したので、6 月中のみを見れば白耳義は 2 割 5 分獨逸の如きは 4 割強に達してゐる。

斯る情勢の下に相場は全く區々で各社の手持契約高に應じて少きは安く、多きは高く一定の値段を探索することは困難であるらしい。9 月に至つても市場改善の兆なく時たま引合の増加に驚かされて強腰となることはあつても、いづれも物にならず、徒に買控の注文殺到を鶴首してゐる形である。

ブラッセル取引所相場下の如し。

	棒鋼	工形 (N.S.)	工形 (B.S.)	山形 (大型)	鋼板 ($\frac{3}{16}$ ")	ピレット (2")
8月1日	4—10—0	(4—16—0)	(4—18—0)	4—11—0	5—12—6	(4—7—0)
8月8日	4—9—0	4—13—0 (4—16—0)	(4—18—0)	4—10—0	5—9—0	(4—7—0)
8月15日	4—7—6	(4—16—0)	(4—18—0)	4—8—0	5—7—6	(4—7—0)
8月20日	4—6—0	(4—16—0)	(4—18—0)	4—6—0	5—5—6	(4—7—0)
8月27日	4—4—0	4—5—0	—	4—4—0	5—4—0	(4—7—0)
9月3日	4—5—0	4—4—0	4—5—0	4—5—0	5—3—0	3—16—0

括弧内は協定價格其他は成行相場

時も時、更に悪材料を興へる報道が歐大陸から齎された。其は先程成立して未だ 1 ヶ月を迎えざる半製品及工形鋼組合が 8 月下旬早くも崩壊して自由競争に委ねられたことである。尤も此組合は 8 月 1 日より活動を開始することになつてはゐるのであるが、未だ殆んど實際的行動に出でず、其の公定最低價格の如きも決して嚴守せられてゐたのではないから其の影響としては寧ろ僅少のものであらうと考へられる。該組合は最低價格の協定と國內向及輸出向販賣數量の協定を骨子として生れたもので半製品及工形鋼の各組合員の注文割當は下の如く定められてゐた。

	半製品		工形鋼		尤も 8 月 28 日リエージュに開かれた實行委員會はたゞ價格協定のみを破棄することを決議したので、販賣數量の協定は理事會の權限に屬するのではあるが棒鋼等の例により見れば數量協定も實行力なきものとなること明である。
	割當數量	輸出向	割當數量	輸出向	
獨逸	30%	32%	47%	31%	
佛蘭西	40%	37%	36%	43%	
白耳義	20%	19%	83%	10%	
ルクサンプルグ	10%	12%	85%	16%	

かくして大陸鋼塊組合は全く舊態に復し、總括的鋼塊生産額協定機關たる他には主要メーカーの單なる懇談機關

と成り終つて了つた。其の崩壞の主因は恐らく

- (1) 白耳義及佛蘭西北部工場が協定に違反して安賣をせること
- (2) 英國に於ける半製品工場が大陸ものに挑戦して安値を出せること
- (3) 一般製品に比し反つて半製品が割高な爲英國向壓延業者は内地品に原料を求めたること
- (4) 該組合には販路協定なく、爲に各自國內市場（獨逸を除き）を擁護するに必要にかられたること
- (5) 現在の經濟情態が餘りにも不況深刻なる爲

等を擧げることが出来るであらう。

然し大陸鋼塊組合としては何れにしても永く現狀に放任することは出来まいから、何等か形を變へて販賣組合の形成に向つて努力することゝ考へられる。

最近の報道に依れば大陸鋼塊組合は既に此の點に付き協議を進めてゐるのみならず9月13日リージュに理事會を開き該組合を本年末迄存続せしむることに決定し且不況對策の一助として來期（來る10月）より鋼塊生産額を2割5分減（1929年8月協定の2割5分減）24,215,250 噸となすことに決定したと。因に從來は1929年に於ける協定數量 32,287,000 噸の1割減即ち 29,058,300 噸であつた。

東西市況—底意動く？ 年額 50 萬噸を消費する丸鋼の腰が落ち付かなければ鋼材界の氣分は到底轉換しない。その丸鋼が6割減産實施の聲明及び共販で55圓以下絶対に賣らないと頑張り、それも相當力強いと見られて、市場では何となく此邊で底入れしそつたと云ふ雰圍氣を醸成しかけて來たと傳へられて居る。

猶先般成立した當所定期を圍つて硬軟兩様の觀察が流布されて居るが結局は業界を安定に導くものとの視力が有力で今こそ未だ荷動きも捗々しくはないが10月と云ふ好期を迎へた事でもあり是以上の不安に陥ることはあるまいと見て、安いならも微かな光りを見出し得たらしいので幾分氣易さを生じた模様である。従つて今迄の様な旗賣りが相當危険を含むものと感ぜられて軟化の尖端を切る安値見積も漸次跡を絶つに到るだらうと云はれて居る。

東京市況

丸鋼 前旬まで弱氣一天張りで終始したベース丸鋼も月末から掛けて例の共販の強腰に刺戟された向もあり、現在としては行く處まで行き盡した感を抱く様になつて稍落ち付きかけたと見られて居る、9mmの浮腰は未だ改まらないがどうやら統制の見込も付きそつたので當然見直すだらうと傳へられて居る。

角、平鋼 角も大體此邊かと見て居る筋もあり、平は未だ次第安と見られて居るが3'以上はそうまで悲觀はされて居らない模様である。

型鋼 日増しに切れ時物が現はれて來る狀勢になつて來た程手持薄であるが一般の類勢に支へられて、其等のものも思ひ切つた伸力はないが、大勢が安定すれば可成の反撥力が潜在するものと期待して居る向もある。中型等山は相當活潑な荷動があつて、現物薄であるが何時でも間に合ふ自信ある爲め未だ見直す迄には至らない、大型130mmが品薄で戻し氣味であるのを初め大型等山は好感を持たれて居る。不等山は不冴、3½×5がロールの故障が一寸氣を持つたが再び沈滞、溝形は滿腹の爲め當分は見込薄を傳へられて居る、工形も稍平均されて來たが他の型物に比すれば活氣あつて前途もそう悲觀されては居らない模様である。

鋼板 落調が鮮かなのは何んと云ふても60以上の鋼板であつて、シャ―業者の混戦の様を其儘に映し出して居る。數日來16と32の4×8が品薄に駭りを傳へられて居るのは近頃の鋼板界にしては異數である。

大阪市況

丸鋼 不相變需要尠なく、生産過剩の狀態にて、相場は依然ジリ貧を改めず、賣買共見送りの態度を持続して居る。目下民間製鐵業者間にて對策を考究中の様子である。が從來の如きエゴイステイクの協定より目醒めて、大勢に合致する方針を樹立せざれば到底市況の好轉は覺束ないであらうと云はれて居る。

角、平鋼 兩者共品薄寸法あるも、これは伸鐵其他の寸法にて需要を満たして居るやうであるが兎に角、賣行不振にて相場も前週と大同小異である。

型鋼 山形、溝形、工形共在庫減の狀態であるが、實需筋はたゞ當用買のみに従つて短尺寸法切賣により在庫整理をなさんとしてゐるやうであるが、これが却つて定尺物に悪影響を與へつゝあるものゝ如く茲許變態的に頭重の様である。

たゞ溝鋼2½"×5"は在庫薄と相待つて8圓拂みの高値で賣買されて居るのが目立つ。

鋼板 一、二中板のもの、需要供給は稍圓滑に行はれてゐる。 $\frac{3}{8} \times 4 \times 8$ は品薄にて小駝りを示し、其他は依然安値を辿り、只管需要擡頭を待ち顔である。

線材 相場は前旬と變りなく引續き手堅く保合つてゐる。

鋳力板 内外共に格別人氣を刺戟するほどの材料もなく依然賣行不振を脱し得ぬ有様である。

線材、薄板、鋳力板、輸入速報

(單位噸)

品名	上旬				中旬				下旬			
	神戸	大阪	横濱	計	神戸	大阪	横濱	計	神戸	大阪	横濱	計
區分	自 8月29日 至 9月8日	自 8月29日 至 9月8日	自 8月28日 至 9月7日	計	自 9月9日 至 9月18日	自 9月9日 至 9月18日	自 9月8日 至 9月17日	計	自 9月19日 至 9月28日	自 9月18日 至 9月27日	自 9月18日 至 9月27日	計
B.W.G.No.5	1,279	51	133	1,443	472	66	331	869	185	—	32	217
線材 其他	452	171	50	672	390	214	36	640	—	—	—	—
計	1,731	222	163	2,116	862	280	367	1,509	185	—	32	217
9月計	—	—	—	—	2,593	502	530	3,625	2,778	502	562	3,842
薄板 0.7mm以下	—	122	106	228	98	—	155	253	—	16	—	16
9月計	—	—	—	—	98	122	261	481	98	138	261	497
鋳力板	554	—	541	1,095	399	449	953	1,801	165	—	467	632
9月計	—	—	—	—	953	449	1,494	2,896	1,118	449	1,961	3,528

東京大阪市中鐵材相場

寸法	上旬		中旬		下旬		寸法	上旬		中旬		下旬	
	東京 9月 10日	大阪 9月 5日	東京 9月 19日	大阪 9月 15日	東京 9月 29日	大阪 9月 25日		東京 9月 10日	大阪 9月 5日	東京 9月 19日	大阪 9月 15日	東京 9月 29日	大阪 9月 25日
丸鋼							溝形鋼						
6mm	8.90	9.00	8.80	8.70	8.80	8.80	$\frac{1}{4}'' \times 2'' \times 4''$	7.00	7.20	6.80	7.00	7.00	7.00
9	6.30	7.00	6.20	6.40	6.00	6.00	$0.312 \times 2\frac{1}{2} \times 5$	7.20	7.50	7.10	7.50	7.10	7.50
12	6.40	7.25	6.10	6.70	6.40	6.40	$\frac{3}{8} \times 3 \times 6$	7.30	7.30	7.30	7.30	7.30	7.30
19	6.30	6.95	6.50	6.50	5.90	6.20	$\frac{3}{8} \times 3 \times 8$	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
25	6.70	7.60	6.60	7.00	6.40	7.30	$\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 10$	7.40	7.40	7.40	7.40	7.40	7.40
50	6.80	7.70	6.70	7.30	6.50	7.50	$\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 12$	7.20	7.50	7.20	7.50	7.20	7.50
65							工形鋼						
角鋼							$\frac{1}{4}'' \times 3'' \times 6''$	7.40	7.50	7.30	7.50	7.20	7.50
9mm	7.80	7.40	7.60	7.30	7.50	7.50	$\frac{3}{8} \times 6 \times 12$	8.50	8.50	8.30	8.80	8.50	8.80
12	7.70	7.70	7.70	7.70	7.60	7.60	$0.28 \times 4 \times 8$	7.30	7.20	7.10	7.50	7.00	7.50
15	7.60	7.60	7.60	7.60	7.50	7.30	$0.35 \times 5 \times 12$	8.30	9.00	8.10	9.00	8.00	8.80
19	8.00	8.00	7.80	7.80	7.80	7.50	$0.36 \times 5 \times 10$	7.70	7.70	7.60	8.50	7.60	8.30
38	7.80	7.80	7.60	7.80	7.70	8.30	鋼板						
平鋼							$1.6mm \times 3' \times 6'$	9.60	10.00	9.30	9.80	9.00	9.40
$\frac{1}{4}'' \times 1\frac{1}{2}''$	7.00	7.10	7.00	7.30	6.90	7.20	$1.6 \times 4 \times 8$	9.20	9.70	8.90	9.50	8.90	8.30
$\frac{1}{4}'' \times 2$	7.20	7.20	7.20	7.20	7.00	7.00	$3.2 \times 4 \times 8$	8.10	8.50	7.90	8.40	8.10	7.80
$\frac{1}{4}'' \times 3$	7.40	7.60	7.20	7.40	7.20	7.50	$3.2 \times 5 \times 10$	8.70	8.70	8.60	7.80	8.40	8.40
$\frac{3}{8}'' \times 4$	7.70	7.70	7.50	7.70	7.50	7.50	$6.0 \times 4 \times 8$	7.80	7.40	7.60	7.20	7.50	7.20
$\frac{1}{2}'' \times 4$	7.70	7.70	7.50	7.70	7.50	7.50	$6.0 \times 5 \times 10$	7.70	7.70	7.70	7.70	7.70	7.70
等邊山形鋼							$9.0 \times 4 \times 8$	7.60	7.30	7.50	7.30	7.40	7.00
$6 \times 50 \times 50mm$	6.90	7.00	6.80	6.90	6.80	7.00	$9.0 \times 5 \times 10$	7.70	7.70	7.70	7.70	7.70	7.70
$6 \times 65 \times 65$	7.00	7.10	6.90	7.10	6.70	7.00	薄鋼板 (13枚)						
$9 \times 75 \times 75$	8.00	8.20	7.80	8.20	7.00	7.80	米	57.0	58.5	53.0	57.0	58.0	56.5
$9 \times 130 \times 130$	7.90	8.00	7.80	8.00	7.80	7.80	英	56.0	57.5	57.0	56.5	57.0	56.0
$12 \times 130 \times 130$	7.90	8.00	7.80	8.00	7.80	7.80	八幡	56.0	56.0	55.5	55.5	55.0	55.0
$15 \times 150 \times 150$							鋳力板						
不等邊山形鋼							米	21.50	20.00	21.50	20.40	21.50	20.20
$\frac{3}{8}'' \times 2'' \times 3''$	7.40	7.50	7.30	7.30	7.30	7.40	100	12.00	11.20	11.90	11.30	11.90	11.00
$\frac{3}{8}'' \times 3 \times 4$	7.10	7.10	6.80	7.10	6.80	7.20	170	19.70	19.00	19.50	19.00	19.50	18.90
$\frac{3}{8}'' \times 3\frac{1}{2} \times 5$	7.10	7.30	6.90	7.00	7.00	7.10	100	10.60	11.00	10.40	10.00	10.40	10.20
$\frac{3}{8}'' \times 4 \times 6$	7.40	8.00	7.30	8.20	7.30	8.00	170	19.80	19.30	19.50	19.20	19.50	19.00
$\frac{1}{2}'' \times 4 \times 6$	8.00	8.20	7.90	8.20	7.90	8.00	100	10.70	10.60	10.50	10.50	10.50	10.30
線材							線材						
No. 5	83.00	77.50	82.00	77.50	82.00	77.50							

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 板當り。線材は噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

昭和5年7月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 累 計
條及竿鐵 (丸、角及平形にして 徑邊又は幅 15mm を 超えざるもの)	31	—	280	30	1	—	87	3	—	—	38	470	7,146
〃 (丸、角、平のもの其他)	115	—	657	269	71	126	22	25	—	—	29	1,314	20,054
〃 (テ-形及アングル形)	1,178	—	317	24	—	—	—	—	—	—	—	1,519	17,193
〃 (其 他)	68	161	1,435	32	—	—	—	68	—	—	129	1,893	34,164
レ - ル	—	—	188	—	—	—	—	479	—	—	—	667	8,296
フイツシュ-プレート	—	—	6	—	—	—	—	28	—	—	—	34	668
ワイヤ-ロツド (巻きたるものにして徑 5mm を超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,021
〃 (巻きたるもの其他)	1	200	1,618	—	139	—	—	1,922	—	—	12	3,892	47,558
鐵板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの)	26	—	196	—	—	—	10	380	—	—	—	612	5,955
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの其他)	1,187	50	147	179	7	—	—	86	—	—	1	1,657	23,615
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mm を超えざるもの)	62	—	133	10	2	—	16	153	—	—	—	376	6,866
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	288	—	1,511	84	—	—	6	17	—	—	—	1,906	32,204
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	2,165	—	—	—	37	—	—	3,833	—	—	153	6,188	50,077
〃 (亞鉛鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	78	—	—	62	140	1,471
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	30	31	86
鐵 線	26	7	113	15	2	—	13	258	—	—	—	434	2,578
リ-ド-ワイヤ-	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5
鐵 リ ボ ン	138	—	318	21	2	—	39	1	—	—	21	540	3,415
帶 (籠 鐵)	382	3	1,269	1,653	—	—	—	2	11	—	148	3,468	26,895
パ ラ ゴ ン - ワ イ ヤ -	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	123
線 索	17	—	8	1	—	—	—	2	—	—	—	28	330
燃 合 線	5	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	13	35
バーブド-ツウイスト-ワイヤ-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	521	409	568	60	—	7	2	937	—	—	—	2,504	21,716
特 殊 鋼(稅表一)	22	1	—	—	90	—	2	21	8	—	8	152	1,478
〃 (稅表二)	19	291	2	—	11	—	6	516	—	—	1	846	1,071
鐵道車輛用車輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵道車輛用タイヤ	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3
鐵道車輛用スプリング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	6,271	1,122	8,769	2,378	362	133	203	8,817	19	—	632	28,706	314,034
フエロ-マンガン-ニ-ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,622
フエロシリコン及 シリコスピーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60
其他の不可鍛成鐵合金	50	—	3	1	—	—	5	—	—	—	—	59	413
シ-ト-バー(ラインバーを含む)	—	1,380	1,774	—	609	—	—	660	—	—	—	4,423	49,170
インゴツト、ブル-ム、ヒレット及 スラツプ	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	13	5,425
ケツグスチ-ール及パンプスチ-ール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	50	1,380	1,777	1	609	—	18	660	—	—	—	4,495	56,890
銑 鐵	386	—	—	—	—	—	—	158	10,925	21,289	3,901	36,659	273,043
屑 及 故 鐵	3,299	—	1	—	—	—	—	20,838	1,226	15,319	7,895	48,578	358,352

昭和 5 年 8 月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(其二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
18	85	線材の部		鋼管の部		6	5	(造船材料)		其他鋼材合計 353	
12	162	線材		鋼管		7	38	12"	15	鋼材合計 21,623	
9	72	線材		鋼管		7½	4	計 13		シート	
Elevator	128	1/8"	2	1/8"	1	8	80	鋼管合計 1,189		ブルー	
用		5/32	4	1/4	8	8½	4	其他の鋼材の部		ブルーム	
合計	1,569	3/16	24	3/8	26	9	15	特殊鋼		ヒレット	
織目板		1/4	1	1/2	66	11	96	丸鋼 152		フェロクロム其他	
92lbs用	105	5mm	447	3/4	102	12	17	鋼板 30		ケツグ	
91	8	B.W.G.		1	226	15	1	其他 52		スチール	
18	3	No.6	1,232	1¼	72	18	1	合計 334		計 19	
9	2	" 5	4,216	1½	41	150mm	8	合外合			
不明	7	" 3	21	1¾	3	Pipe		計 輪計			
合計	125	" 2	22	2	80	Fittings	47				
		" 1	22	2½	11						
		" 0	124	3	73						
		" 00	29	3¼	4						
軌附合計	1,694			3½	13						
				4	79						
				4½	2						
				5	1						
						計	1,176				

昭和 5 年 7 月 民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		7/8	3,086	2½	47	5/8	568	計 708		2	36
		1	2,549	2¾	1	7/8	5	平鋼		2½	184
1/4"	400	1½	399	2¾	66	1	13	1/2"		2¾	22
5/16	279	1¾	219	3	40	1¼	2	7/8		3	141
3/8	827	1¾	80	3¼	2	1½	10	1		3½	99
7/16	28	1½	455	3¾	7	1¾	5	1½		4	62
1/2	3,030	1½	126	3¾	3	2	16	1¾		5up	15
9/16	1	1¾	219	其他	391	2½	1	1½		其他	6
5/8	1,358	1¾	36	計	17,950	2¾	5	1¾		計	692
11/16	1	2	203	角鋼		3	65	1¾		總計	19,350
¾	3,023	2¼	74	1½"	13	其他	5	1¾			

月定期先物積殘數量高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	合計	備考
等邊山形鋼		不等邊山形鋼		溝形鋼		工形鋼			
mm mm		mm mm		6" x 3"	—	mm mm			
130 x 13	—	75 x 50	—	7 x 3½	—	125 x 75	—		
		75 x 65	—	8 x 3	—	150 x 75	—		
		90 x 75	—			200 x 150	—		
		100 x 75	—			230 x 100	—		
		125 x 75	—			250 x 125	—		
						350 x 150	—		
						24' x 7½	—		
計	—	計	—	計	—	計	—		

昭和5年8月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表 (單位噸)

區分 寸法	丸 鋼									合計	區分 寸法	丸 鋼									合計
	民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼				合計			民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼				合計	
	阪揚	神揚	京濱	其他	阪揚	神揚	京濱	其他				合計	阪揚	神揚	京濱	其他	合計				
5.5mm	—	—	—	—	8	—	1	—	9	9	140	24	—	—	24	—	—	14	14	38	
6	20	35	65	120	—	—	17	—	17	137	150	48	—	—	48	—	38	8	46	94	
6.5	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	160	40	—	—	40	—	—	—	—	40	
7	—	—	—	—	—	—	2	—	2	2	170	40	—	—	40	—	1	—	1	41	
8	20	40	20	80	—	—	2	—	2	82	180	23	—	—	23	—	—	—	—	23	
8.5	—	—	—	—	—	—	2	2	4	4	200	16	—	—	16	—	—	—	1	17	
9	1,349	2,013	652	4,014	—	—	19	—	19	4,033	丸鋼計 1,783.2,228.833.4,844. 27.87.1,002.1,116.5,960.										
9.5	—	—	—	—	—	—	4	—	4	4	角 鋼										
10	—	—	—	—	—	—	3	—	3	3	12mm	—	10	5	15	—	—	—	—	15	
10.5	—	—	—	—	—	—	3	—	3	3	16	—	5	15	20	—	—	—	—	20	
11	—	—	—	—	—	—	25	—	25	25	19	—	20	10	30	—	—	—	—	30	
12	—	—	—	—	—	—	49	—	49	49	22	—	14	—	14	—	—	—	—	14	
13	—	—	24	24	—	—	1	—	1	1	25	—	5	5	10	—	—	1	1	11	
15	—	—	—	—	—	—	2	—	2	2	28	5	10	—	15	—	—	—	—	15	
16	—	—	—	—	—	—	194	—	194	194	32	32	10	5	47	—	—	—	—	47	
18	—	—	—	—	—	—	3	—	3	3	38	15	20	10	45	—	—	8	8	53	
19	—	—	—	—	—	—	211	—	211	211	44	10	27	—	37	—	—	—	—	37	
22	—	—	—	—	—	—	41	—	41	41	46	—	—	—	—	—	2	—	2	2	
24	—	—	—	—	—	—	2	—	2	2	50	5	15	1	21	—	—	6	6	27	
25	—	—	—	—	—	—	102	—	102	102	65	5	—	—	5	11	—	18	29	34	
27	—	—	—	—	—	—	3	—	3	3	75	10	5	—	15	—	—	58	58	73	
28	—	—	—	—	—	—	4	—	4	4	90	—	8	—	8	—	8	3	11	19	
30	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	100	—	26	—	26	—	—	6	6	32	
31	—	—	—	—	—	—	5	—	5	5	125	—	1	—	1	—	—	—	—	1	
32	—	—	—	—	—	—	22	—	22	22	130	—	—	—	—	—	5	5	5	5	
36	—	—	—	—	—	—	29	—	29	29	160	—	—	—	—	—	13	13	13	13	
38	—	—	—	—	—	—	23	—	23	23	170	—	—	—	—	—	6	6	6	6	
40	—	—	—	—	—	—	12	—	12	12	角鋼計 82. 176. 51. 309. 11. 10. 124. 145. 454'										
44	—	—	—	—	—	—	32	—	32	32	平 鋼										
48	—	—	—	—	—	—	11	—	11	11	19mm	43	73	15	131	—	—	—	—	131	
50	13	—	—	13	—	—	18	—	18	18	22	36	46	15	97	—	—	1	1	98	
55	16	2	—	18	14	—	16	—	30	48	25	36	68	31	135	—	—	3	3	138	
60	6	—	—	6	—	—	3	—	3	9	32	53	39	89	181	—	—	—	—	181	
65	7	2	5	14	—	—	15	—	15	29	38	51	57	42	150	—	—	7	7	157	
70	5	—	—	5	—	—	9	—	9	14	44	22	5	30	57	—	—	—	—	57	
75	2	—	—	2	5	—	28	—	33	35	50	65	45	21	131	—	—	7	7	138	
80	5	—	61	66	—	—	3	—	5	71	52	4	—	5	9	—	—	—	—	9	
85	—	—	—	—	—	—	2	—	2	2	65	51	75	20	146	—	—	—	—	146	
90	11	—	6	17	—	—	21	—	21	38	75	28	137	33	198	—	—	—	—	198	
100	11	36	—	47	—	6	12	—	18	65	90	17	1	15	33	—	—	—	—	33	
110	7	100	—	107	—	1	—	—	1	108	100	—	5	—	5	8	2	3	13	18	
115	46	—	—	46	—	—	4	—	4	50	3 5/8"	20	—	10	30	—	—	—	—	30	
120	30	—	—	30	—	—	7	—	7	37	平鋼計 426 551 326 1,303 8 2 21 31 1,334										
125	2	—	—	2	—	—	16	—	18	20	總 計 2,291.2,955.1,210.6,456. 46.99.1,147.1,292.7,748.										
130	42	—	—	42	—	—	22	—	22	64											

昭和5年8月當所製品揚地別發送高 (單位噸)

品名	區分	揚 地 別															合 計
		阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	內海沿岸地方	沿國方	奧羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿洲關東地方	鮮州地方	支那	臺灣	其他	
鋼材	官廳	3,382	3,973	171	195	—	230	290	1,190	985	467	—	358	—	11,241		
	民間計	14,781	11,446	4,065	1,648	—	—	—	2,101	306	785	—	207	—	35,339		
鋼片及鋼塊副製品	官廳	200	101	2,440	—	—	656	—	364	—	—	—	—	—	6,133		
	民間計	20	31	15,136	85	—	35	—	3,398	—	—	—	—	—	15,671		
合 計		18,383	15,551	21,812	1,928	—	921	290	6,391	1,291	1,252	—	565	—	68,384		

昭和5年8月契約高

(單位噸)

品種\區分	官廳小計		民間小計		8月中合計			本年度累計		
	噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大 條	1,396	124,741	2,036	158,394	3,432	823,135	82.50	17,829	1,508,437	84.61
中 條	808	101,645	571	43,334	1,379	144,979	105.13	9,373	902,547	96.29
小 條	139	20,532	573	39,023	712	59,555	83.64	19,253	1,451,137	75.37
鋼 板	3,768	411,770	8,005	583,735	11,773	995,505	84.56	48,149	4,207,290	87.38
重軌條及附屬品	22,394	2,126,918	1,365	131,092	23,759	2,258,010	95.04	118,795	11,069,185	93.18
輕軌條及附屬品	743	75,849	566	43,604	1,309	119,453	91.26	7,588	729,943	96.20
線 材	4	1,175	228	14,820	232	15,995	68.94	28,009	2,230,424	79.63
黑板、硅素鋼板、 錳力板	30	7,581	254	39,188	284	46,769	164.68	12,337	2,702,857	219.09
車軸外輪鍛成品	305	81,316	146	15,895	451	97,211	215.55	4,015	1,024,093	255.07
工具鋼、特殊鋼	7	10,599	3	8,079	10	18,678	1,868	66	39,791	602.89
其他鋼材	41	8,118	—	—	41	8,118	198	92	21,019	228.47
鋼材小計	29,635	2,970,244	13,747	1,077,164	43,382	4,047,408	93.30	265,506	25,886,723	97.50
鋼片、鋼塊、 —ト—上	17	1,606	5,011	280,407	5,028	282,013	56.09	30,015	1,832,253	61.04
以上計	29,652	2,971,850	18,758	1,357,571	48,410	4,329,421	89.43	285,521	27,718,976	97.08
短尺及屑鋼	100	4,451	1,068	58,210	1,168	62,661	53.65	16,349	984,272	60.20
以上計	29,752	2,976,301	19,826	1,415,781	49,578	4,392,082	88.59	311,870	28,703,248	92.04
副製品		26,447		177,176		203,623			1,937,226	

昭和5年8月中3港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種\區分	神戶	大阪	橫濱	8月計	前月計	本年累計	前年 同期累計
丸角鋼	669	166	312	1,147	591	15,966	55,740
平鋼	54	—	3	57	81	1,754	4,533
等山	280	—	322	602	753	7,914	11,741
不溝等	124	—	205	329	338	7,199	14,099
山形	10	—	82	92	82	4,387	2,763
溝工	5	—	169	174	31	4,102	6,786
鋼板(0.7mm超)	47	568	4	619	215	8,408	13,950
〃(0.7mm以下)	176	174	1,013	1,363	2,268	33,433	28,000
力條材	11	345	115	471	1,104	25,114	52,112
錳軌線	690	757	1,974	3,421	5,029	39,979	41,572
線材	638	679	254	1,571	571	8,791	21,605
シ—ト—パイ	3,079	1,640	1,425	6,144	3,332	48,087	107,380
鋼管	1,899	—	1,233	3,137	1,863	22,474	17,021
其他	335	418	433	1,186	2,547	18,675	39,430
計	337	106	878	1,321	1,204	16,432	23,021
	8,354	4,853	8,427	21,634	20,009	262,715	442,753
硫石	101	—	51	152			
炭	9	—	—	9			
フリ	20	—	76	96			
ソ	27	—	36	63			